

第1回アロマサイエンス勉強会

科学的アロマセラピーの 夜明け： 精油の機能と自律神経

アロマセラピーの効果は科学的に十分検証されていないし、精油には偽和(混ぜ物)が多い事が富研一博士による精油の分析から明らかにされている。演者は動物実験で自律神経変化を介して、精油が血糖や血圧などの生理機能に作用することを認めています。

2014年にフランスで国家資格を与えるアロマセラピーコースが国立大学に設置されたが、レンヌ大学の同コース主任講師ドミニク・ダヴェンヌ氏は、偽和の無い精油による科学的アロマセラピーの確立が重要であると述べています。本勉強会は、このような背景のもとに科学的なアロマセラピーの確立を目指して開催することとなりました。奮ってご参加ください。

2018. **3.10** **土**

開始時間 / 13:00 ~ 18:00

開催場所 / エイトビル5階 第7会議室(中津)
大阪市北区豊崎3-6-11

受講料: 10,000(税込)

定員: 30名

アロマセラピーの機能における役割



講師

株式会社ANBAS

代表取締役 永井克也 (大阪大学名誉教授)

大阪大学大学院医学研究科修了(医学博士)後、愛媛大学、大阪大学蛋白質研究所を経て、2007年株式会社ANBASを設立。専門は、体内時計の分子機構と機能、自律神経による生理機能調節、糖代謝調節、精油の香りと塗布効果など